

第12回熊野川の総合的な治水対策協議会 猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

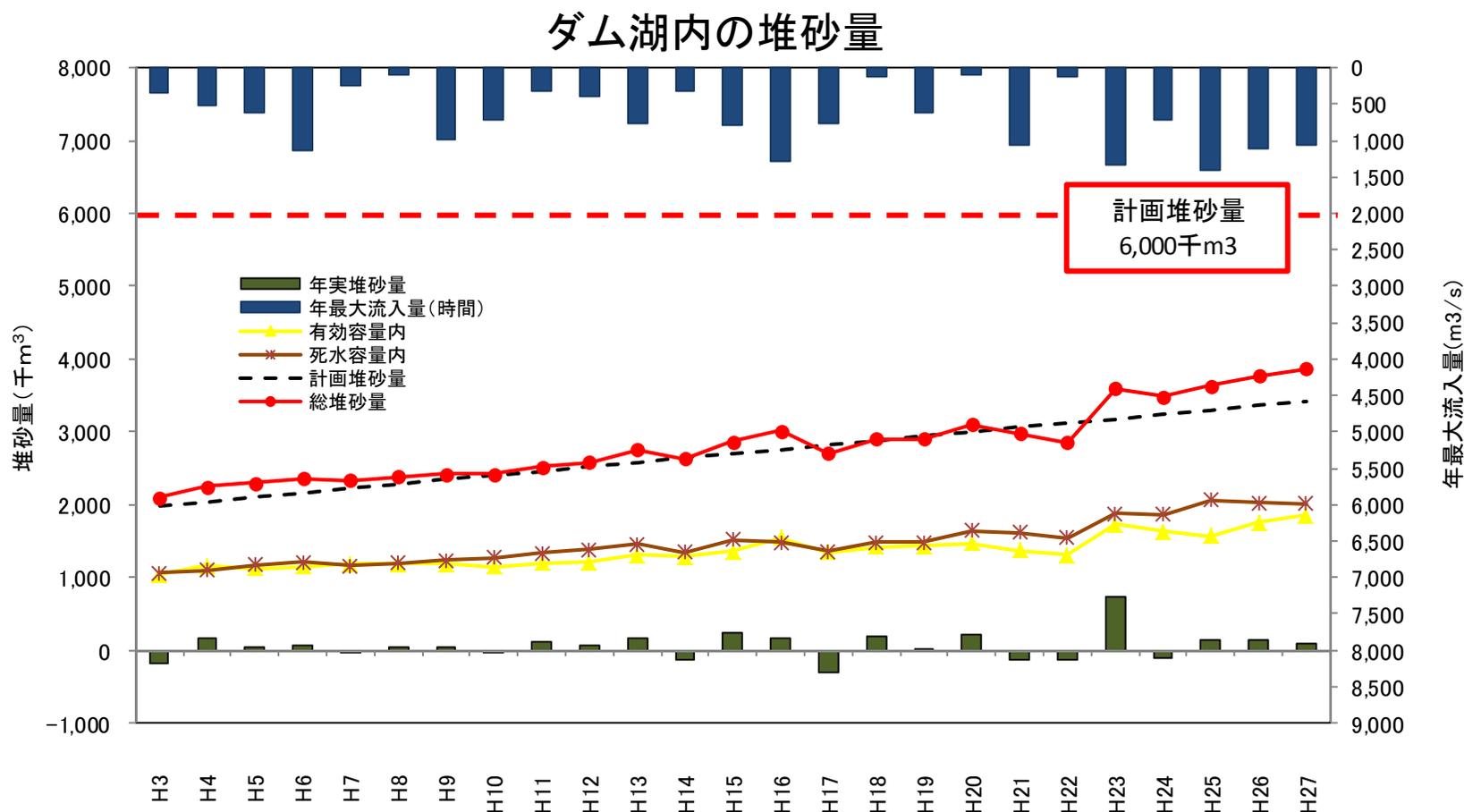
国土交通省 近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所
平成28年11月10日

猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

●平成27年度末時点の堆砂状況

現在、管理開始から59年(平成27年度末時点)が経過し、総堆砂量は3,863千 m^3 であり、計画堆砂率は平成27年度末時点で59%であるが、平成27年度末時点の堆砂率は64.4%となっている。

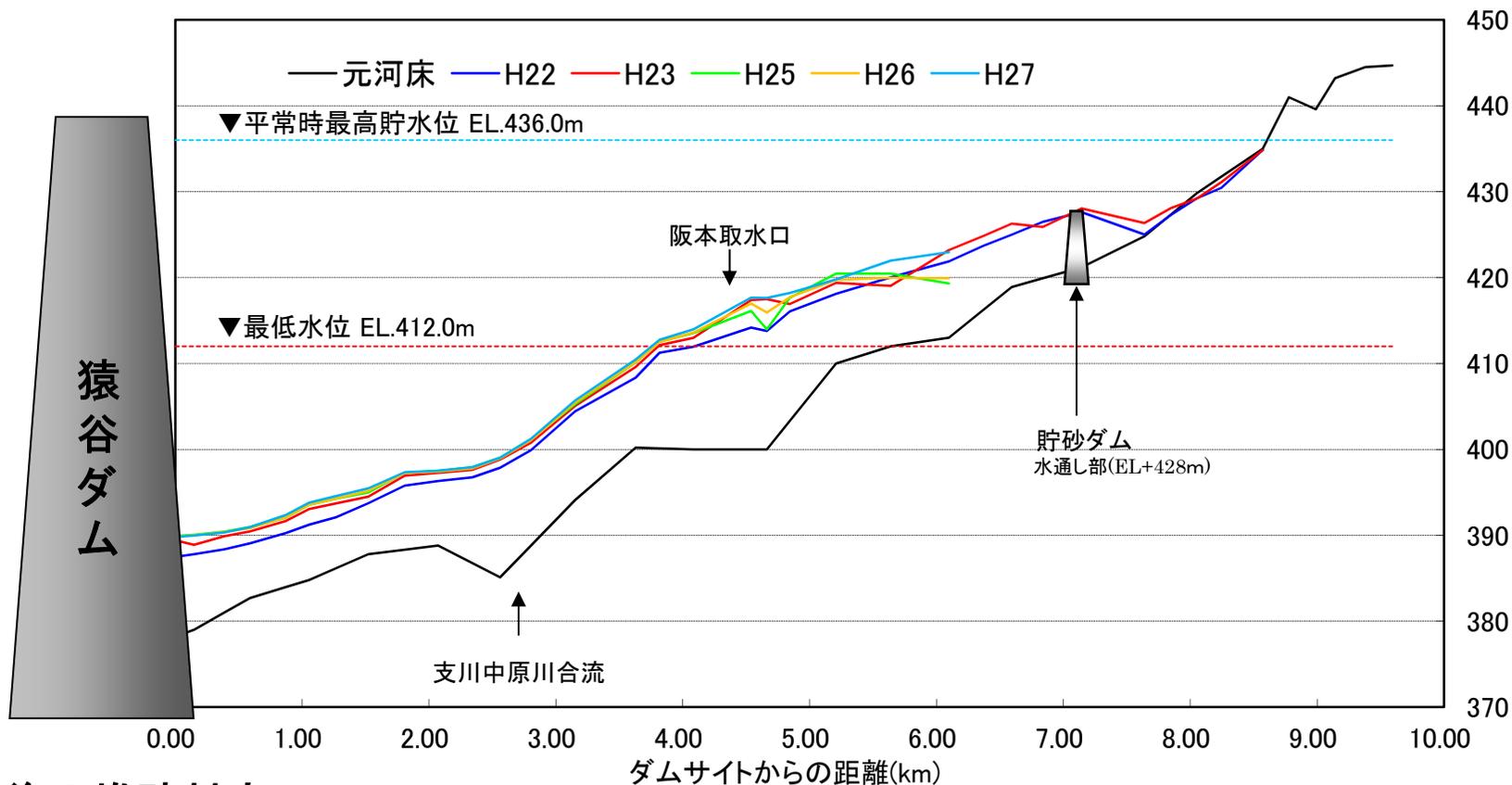
現在のところ、概ね計画どおりの堆砂率と見ているが、平成23年度以降は、計画堆砂率を多少上回っている状況である。



●ダム湖内の堆積状況

- ・貯水池上流部においては、洪水時に上流の浸水被害に影響を及ぼすものではないと思われる。
- ・堆砂形状をみると阪本取水口付近に堆砂がみられ、今後、取水への影響が懸念される。

ダム湖内の堆砂状況



●今後の堆砂対応

平成23年度以降は、計画堆砂率を多少上回っていることから、引き続き状況を注視し、まずは取水への影響が懸念される阪本取水口付近の堆砂除去について取り組む。なお、施工時の濁水発生については十分配慮し、関係機関と協議の上取り組む。

【参考】掘削予定箇所付近の状況



撮影日:平成28年1月15日 貯水位 約420.7m